

腹膜透析患者さんの出口部感染に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年3月27日～2025年3月31日

〔研究課題〕

皮膚トレパンを用いた腹膜透析カテーテル出口部作成が感染発症に及ぼす影響の検討

〔研究目的〕

当院で腹膜透析を開始された慢性腎臓病患者さんのカテーテル出口部感染に関する実情を詳しく分析することで、感染発症率の更なる低下を目指します。

〔研究意義〕

腹膜透析療法において、出口部感染は難治性腹膜炎やカテーテル抜去につながる重要な合併症です。当院では出口部感染を起こしにくいような手術時の工夫（カテーテルの出口部を形成する際、皮膚に丸い穴を開けてそこにカテーテルを通す）を行っておりますが、その治療成績を取りまとめる必要がございます。

〔対象・研究方法〕

本研究では、2018年1月1日から2022年12月31日までの間に帝京大学ちば総合医療センター腎臓内科において腹膜透析導入となった慢性腎臓病患者さんの診療情報を用いたデータベースを構築し、腹膜透析の開始後1か月以内および1年以内におけるカテーテル出口部感染の実態を確認します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター

〔個人情報の取り扱い〕

患者さんの情報は個人を同定できないように加工して扱います。情報が外部に漏れることはありません。研究の終了後、情報は帝京大学臨床研究センター（Teikyo Academic Research Center）において、10年間の保管の後に破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 寺脇 博之 客員教授

所属： 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科（腎臓内科）

住所： 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-0111(代表) [内線 2010]